

会 議 録

| | |
|------------|---|
| 会議の名称 | 平成26年度第3回 公共施設再配置・複合施設機能検討懇談会 |
| 開催日時 | 平成26年12月8日(月) 午後 1時30分から 午後 4時00分まで |
| 開催場所 | 本庄市役所 職員厚生室 |
| 出席者 | (アドバイザー) 小松 幸夫教授 (委員) 飯塚 俊彦委員、粂田 平一郎委員、入 利雄委員、 奥原 喜一郎委員、河田 重次委員、樋口 頼正委員、 今井 勝子委員、須藤 成光委員、明堂 純子委員、 山田 康博委員、瀬山 四郎委員、永尾 路子委員、 種村 朋文委員、江原 貞治委員、小賀野 昇委員、 青木 光蔵委員 (事務局) 奥田 謁夫副市長、新井企画財政部長、 山下部企画課長、武政企画課施設調整係長、飯島主事 |
| 欠席者 | 鈴木 隆治委員、富丘 敦委員、内田 睦夫委員、高橋 福八委員、 清水 由紀夫委員 |
| 議題 (次第) | (1) 公共施設再配置計画(案)について |
| 配付資料 | ・資料1：本庄市公共施設再配置計画(案) ・参考資料1：市民ワークショップ検討結果のまとめ(第1回、第2回) |
| その他特記事項 | |
| 主管課 | 企画財政部企画課 |

| 会 議 の 経 過 | |
|------------------------------|--|
| 発 言 者 | 発言内容・決定事項等 |
| 1. 開 会 | |
| 事務局 | <p>皆さんこんにちは。12月に入り寒く忙しくなってきた中、第3回の公共施設再配置・複合施設機能検討懇談会にお集まりいただきありがとうございます。本日の懇談会にあたりまして、事前に鈴木委員、富丘委員、内田委員、清水委員の4名から欠席のご連絡がございましたのでご連絡いたします。なお、委員が1名まだいらっしゃっておりませんが始めさせていただきます。</p> <p>(配布資料の確認)</p> <p>今回、傍聴人が3名いらっしゃるため、傍聴をご承認下さい。</p> <p>それでは早速、会議にあたり副市長からご挨拶をお願い致します。</p> |
| 2. あいさつ | |
| 副市長 | <p>前は、貴重な意見をいただき誠にありがとうございました。皆様からいただいたご意見を踏まえて、一層研究をさせていただきます。今回計画案としてお示しさせていただいています。今後、各施設について具体的な議論がされてくるかと思いますが、皆様が常に立ち戻れる基本的な考え方をまず形にしていきたいと思っています。本日も貴重なご意見いただきたいと思いますので、よろしくお願ひ申し上げます。</p> |
| 3. 意見交換 | |
| (1) 公共施設再配置計画(案)について | |
| (公共施設再配置計画(案)第1章について事務局より説明) | |
| アドバイザー | <p>資料をみると、将来人口については15歳から64歳の人口がずいぶん減ってしまうので、税収も減ってしまうことが予想できます。</p> <p>これに伴い、公共施設へ回せるお金も減少すると思いますので、そのあたりをしっかりと見せておいた方が良くと思います。</p> <p>この後、インフラの問題も出てくるかと思いますが、この計画では、インフラはどのような扱いとなっているのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>今年度の公共施設再配置計画はハコモノを対象としており、インフラについては、来年度策定する公共施設等総合管理計画において計画する予定です。</p> |
| アドバイザー | <p>インフラの方がお金は桁違いにかかってくると思いますので、ハコモノに回せるお金は少なく、財源上は相当厳しいと思います。</p> <p>今後の計画の中で、検討していただきたいと思います。</p> |
| (公共施設再配置計画(案)第2章について事務局より説明) | |
| アドバイザー | <p>削減率を前回よりも高く15%としています。感想としては試算内容がやや楽観的という気がしないでもないですが、逆に言えば、①から④までの内容をしっかりとやっていくという意味かと思っています。</p> |
| 事務局 | <p>ご意見のとおり、施設のライフサイクルコストの縮減に取り組んでいく方</p> |

| | |
|--------|---|
| | 針としています。 |
| 委員 | <p>長寿命化についてですが、長寿命化をすることで、却って施設数の削減がままならなくなるのではないのでしょうか。時間が経過するにしたがって、不要となってくる施設があるかと思います。</p> <p>そのような観点はいかがお考えでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>長寿命化は、健全度調査を行って、対象となる施設を設定した上で行うことを想定しています。長寿命化することにより、施設の全体的なコストは減らせると考えています。</p> <p>長寿命化は、全施設行うわけではなく、健全度調査を行って見定めた上で対象施設を決めていきます。</p> |
| 委員 | <p>修繕すれば使用できる施設も、ニーズの不一致があれば取り壊すことも必要ではないのでしょうか。</p> |
| アドバイザー | <p>残すべき建物を決めて、長寿命化によって長く使用していくというのは大事なことかと思っています。あえて建物と申し上げたのは、中身は変わってくるからです。</p> <p>例えば、千代田区では、学校がなくなってしまう、廃校となった建物を改装して、民間に貸しています。必ずしも解体することが良いことではないということです。全体を見ながら必要な機能を残しつつ、民間に貸すなども考慮しながら進めていくことが必要になるかと思っています。</p> <p>長寿命化は施設を長持ちさせて使っていくことなので、もしかしたら維持管理費が今以上にかかってくるかもしれません。そのあたりも上手く見極めていく必要があると思います。方針そのものは間違っていないと思いますが、色々なことを考えていく必要があります。</p> <p>今回の計画の中で維持管理費を算定していますが、光熱水費等それぞれの施設でどのくらいかかっているかは分かるのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>白書には記載しています。</p> |
| アドバイザー | <p>今後、維持管理費を削減することを行っていくかと思うのですが、チェックする仕組みは考えているのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>毎年度白書と同様のデータ整理を行うことを予定しており、それらデータを活用してチェックを行っていきます。</p> |
| アドバイザー | <p>チェックする仕組みをつくることは大切です。</p> |
| 委員 | <p>総量削減は考え方として理解できるが、どの施設から削減するのかが曖昧です。15%減らしていくのであれば、どの施設から減らしていくのでしょうか。</p> <p>市としては、イメージとして特定の施設を出していく必要があるのではないのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>現状で示していける範囲の内容を、施設種別方針で示しています。</p> |
| アドバイザー | <p>個別の施設になると、中々難しい議論になってきます。</p> |

| | |
|---|---|
| | <p>施設がなくなるとサービスが無くなると皆さん思われますが、施設がなくなってもサービスは別の形で提供できます。例えば、市が提供せずとも NPO や民間が提供するなど、上手く組み合わせていくことが考えられます。</p> <p>このあたりは、皆さんから色々提案をいただけると良いと思います。</p> |
| (公共施設再配置計画(案) 第3章(1)公民館～(5)産業振興施設について事務局より説明) | |
| アドバイザー | <p>施設を 15 種類に分類していますが、この分類の中だけ色々やろうというように見えます。例えば、使う側としては、公民館と市民活動施設は変わりません。</p> |
| 事務局 | <p>設置目的が、そもそも違っているため分けていますが、おっしゃるとおり使用状況としては同じような使われ方となっています。利用状況も踏まえて、今後統廃合などを検討していく事で考えています。</p> |
| アドバイザー | <p>稼働率の向上について記載がありますが、稼働率の向上に努めても仕方がない面もあるのではないのでしょうか。使わない施設は、頑張っても使わないと思います。</p> <p>使用料を徴収しているかと思いますが、その収入は微々たるものかと思います。使用料を上げると、余計に使われなくなる面もあるかと思います。</p> |
| 委員 | <p>防災面への配慮など、施設目的も考慮して、今後必要な施設の統廃合を検討していく必要があるかと思います。</p> |
| 事務局 | <p>統廃合を行っていく際には、そのような事を考慮して進めていかなければならないと考えています。</p> <p>今回は、基本方針と施設種別方針という形で作成させていただき、今後具体的な実施計画等の段階で、取り入れていきたいと思っています。</p> |
| アドバイザー | <p>基本方針の部分は総論で良いと思いますが、もう少しポリシーを示していただくことが良いと思います。現時点では難しく、来年度以降になるかと思いますが、メリハリをはっきりとされた方がよいと思います。</p> |
| 委員 | <p>20 年後、30 年後を見据えていく上で、今後のライフスタイルも変わってくると思います。例えば、公民館について言えば、現在の子育て世代はほとんど使用していません。このため、この世代が高齢者になったときには現状より使われなくなると思います。公民館を、今までどおりに使っていくことはいかがなものかと思います。この資料では、そのようなライフスタイルの変化も踏まえた内容となっているのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>今後の少子高齢化を見据えて、統廃合をしていくことを想定しています。公民館については稼働率が 3 割弱と低い状況ですが、日中はかなり利用されているようです。これから高齢化が進んでくると、むしろ公民館を使うかたが増えてくると思われます。ただ、ご意見あったようなこともあり、先行きは見込めない状況です。状況に応じて、統廃合していくことを検討することになると思います。</p> |
| 委員 | <p>現状は、リタイアした方がよく利用しており、若い方は利用していません。</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>若い方がリタイアした際に、公民館を利用しないかもしれません。ただ、リタイアされている方が現状利用されているのであれば、すぐにやめてしまうのはいかがなものでしょうか。</p> <p>リタイアした方に公民館を利用していただくことで、健康を維持していただければ、医療費や介護費を削減でき、市の財政にとっても良いことだと思います。健康講座などをどんどんやっていただきたいです。</p> |
| 委員 | 公民館の利用の仕方を検討していくということであれば同感です。 |
| アドバイザー | <p>公民館にシニアの方が集まるのは、場所が欲しいからかと思います。集まる場所さえあれば、公民館でなくても良いはずで、このような発想の転換ができれば、集約化が進むのでは無いかと思います。</p> <p>よく言われるのは、特定のグループの方が使っていることが多くて、それ以外の方は使っていないという状況があると、税金の負担の仕方について議論となることがあります。なるべくたくさんの方が、一つの施設を使えば負担は減ると思います。そのような発想が必要なのではないのでしょうか。そういった意味では、学校という場所は良い場所だと思っています。</p> <p>施設については、使っている方と使わない方がいらっしゃるの、両方の意見を聞く事が大切かと思っています。</p> |
| (公共施設再配置計画(案)第3章(6)図書館～(10)保育所について事務局より説明) | |
| アドバイザー | 本庄と児玉は、別々に扱うことが基本なのではないでしょうか。 |
| 事務局 | 災害時対応等を考えると、本庄と児玉で一つずつ配置することが良いと考えて提案しています。 |
| アドバイザー | <p>広域連携の視点も考慮すれば、将来的には二つの地域で一つの施設にしていくことを考えても良いのではないのでしょうか。</p> <p>保育所がすごく少ないですが、大丈夫なのではないでしょうか。</p> |
| 委員 | 民間保育園が多くなっているためです。 |
| アドバイザー | 民間保育園が多いのであれば、公共施設として保有せずに補助等で対応していく方向性も考えられます。 |
| 委員 | 夜間に、体育館を開放していくことを制度化するようなことはないのでしょうか。 |
| アドバイザー | <p>学校に関しては、色々考えられると思います。ご意見のとおり学校の体育館を開放することも考えられますし、あるところでは公営の図書館を学校内に建設した例もあります。この場合、学校で個別に図書室を作らなくてよくなります。</p> <p>一方で、止めてしまう例もあります。例えば、プールは維持費がかけちゃうため、あるところでは止めてしまっ、民間の水泳教室を借りて授業をしているところもあります。</p> <p>このような工夫をたくさん出されると、今までの学校と違う学校ができてくると思います。</p> |

| | |
|--|--|
| 事務局 | 学校については、参考資料にお示ししているように、ワークショップでもご意見をいただいております。学校に地域交流機能を入れてはどうかというようなご意見もいただいております。また、地域の防災機能としての活用というご意見もございました。 |
| アドバイザー | 今後5年間で何をするか、というような計画も今後立てていく必要があるかと思えます。 学校の話で、小学校と中学校を合併させるという案もあるかと思えます。 |
| 事務局 | 全国的な動向は把握していますが、具体的な計画などは今のところありません。本庄市の中では、小学校と中学校が近接しているところもあるため、プールを共有化するようなことも今後考えられるのではないかと思います。 |
| 委員 | 人口減少対策に関連して、学校を統合した場合に空いた施設の有効活用を図り、若い方に住んでいただくような施策をしているところもあります。 |
| アドバイザー | 別途、市の政策検討の中で考慮していくことが必要な視点だと思います。 |
| 委員 | 計画の30年間は長いと思えますか。 私のこれまでの30年間はあっというまでした。30年といってもすぐ過ぎてしまうため、頑張って計画を進めていただきたいです。 |
| 事務局 | 庁内の検討委員会の中でも関係課職員と共に議論を進めており、計画期間は30年先ではありますが、常に自分の仕事として立ち返るべき計画として取り組ませていただいております。 |
| アドバイザー | まずは短期の目標を立てて、そこで具体的な考えをまとめていくことが大切かと思えます。こういった取組みは、上手くいっているところはまだまだありませんので頑張って進めていただきたいです。 |
| 委員 | 学校の先生は、地域の方が学校へ入っていただくことを嫌がっているわけではありません。むしろ、地域の方に入っていただきたいと考えています。ただし、施設利用に関する管理・セキュリティ面や地域の方のモラルに気をつけていかなければいけないと思えます。 |
| アドバイザー | 学校は、先生に全てを任せすぎていると思えます。先生は教育に専念していただいて、建物の管理は別の方が行う形が良いかと思えます。運用の仕方の問題です。 福祉関連の施設等は、学校に統合しやすい機能かと思えます。 |
| (休憩) | |
| (公共施設再配置計画(案)第3章(11)児童施設～(15)その他施設 P.46 以降について事務局より説明) | |
| 委員 | 児童施設についてですが、本庄市ではもっと子育て支援をしていくという大方針があると思えます。何でも削減するというのはいかがなものでしょうか。 |
| アドバイザー | 先ほどのお話でもありましたが、施設別に書き分けが必要なのではないのでしょうか。子育てと高齢者と防災は、削れない部分かと思えます。ここを、 |

| | |
|--------|--|
| | どうやっていくのかという工夫がいます。 |
| 事務局 | 現状、少子化の傾向があるため、今後削減するというような記載にさせていただきます。 |
| アドバイザー | 市としての政策（大方針）を整理する必要があると思います。子どもの問題は、これから重要だと思いますので、そこは手厚くする必要があると思います。 人口減少の食い止め方や、働く場の確保について考える必要があるのではないのでしょうか。 若い方がたくさんいる街にしていかなければ、消滅しかねません。 |
| 委員 | 本庄市の思想が欲しいところです。児童センターは止めるけども、学童保育は残すなどのメリハリがいますかと思えます。 |
| アドバイザー | 庁舎についてですが、児玉と本庄は二つ必要なのではないでしょうか。将来的に、二つであり続けるのはどうなのでしょう。例えば 30 年後を目処にして、本庄早稲田の場所に市役所を移転・統合することも考えられるのではないのでしょうか。明日実施するという訳ではないので、案外納得していただけるのではないのでしょうか。 ムードをつくって誘導していくことが大切だと思います。そのためには、市の大きな方針が必要かと思えます。 |
| 委員 | 生涯寿命と健康寿命を縮めることで、介護費などを削減できるのではないのでしょうか。 |
| アドバイザー | 例えば、市営住宅の問題があります。年寄りの一人住まいが多いので、高齢者対策と一緒に考えるのはいかがでしょうか。このような総合的な思考によって、色々なものが一つにまとまって、もっと良いサービスを提供できることがあり得るかと思えます。 |
| 委員 | 市営住宅について、延床面積を減らすとありますが、今いる全体人口のうちどの程度市営住宅でまかなうか、という考え方もあるのではないのでしょうか。 |
| アドバイザー | 市営住宅に関しては、建物を維持することに費用がかかります。高齢者の一人住まいの場合、高齢者福祉施設との連携が考えられないか、家賃補助を行うとすると施設を持たなくても良くなります。 |
| 委員 | そのあたりも踏まえて、どの程度必要なのかを判断する必要があるのではないのでしょうか。 |
| アドバイザー | どのくらい必要なのかは、政策の議論が必要となってくると思えます。そのため方針が必要となってくると思えます。 |
| 事務局 | 施設の今後のあり方は、市の政策と直結してくる部分があります。具体的な施策や事業推進において、部局間を越えて調整し展開していく必要があると考えています。 |
| アドバイザー | 公共サービスと施設（建物）は、分けて考えることが必要かと思えます。 |

| | |
|--------|---|
| 4. その他 | |
| 事務局 | 今後の流れについて説明させていただきます。再配置計画については、来月パブリックコメントを予定しています。そのために、12月19日の議会全員協議会に報告させていただく流れとなっています。次回の懇談会は、年明けの3月に予定しています。パブリックコメントの結果を受けた、再配置計画の最終案を資料として提示させていただく予定です。 |
| 5. 閉 会 | |
| 事務局 | 2時間以上にわたり、貴重なご意見ありがとうございました。以上をもちまして、本日の議題を全て終了させていただきます。 |